

本別高校を活気のある高校にする

山川雫月 木南璃子 橋本康史 守田七星

概要

本別高校を活気のある高校にするために、生徒数増加に必要なことを考えた。

1. はじめに

この活動のきっかけは、本別高校で音楽イベントを開催したいという思いからでした。そのことについて考えていくうちに、母校（本別高校）を活気のある高校にしたいという想いがあるのだと気づきました。そこで、イベントという考えを一度外し、どうすれば活気のある高校になるのか、今の高校には何が足りないのかを考えたところ、生徒数が減少しているという課題にだどりつくことができました。

2. 課題について

本別高校の生徒数減少について考えた。

3. 現状分析について

初めに、本別高校の生徒数がどれくらい減少しているのかを調べたところ、過去十年間の推移では半分以下に減少しているのが分かりました。



【グラフ1：過去10年間の生徒数の推移】

次に、この活動を進めていく中で、この活動がとち創生学のテーマとなる地域活性化につながるのかということに疑問を感じたため、調べていくと実際に高校が活性化することで町自体も活性化したという事例を見つけることができました。

4. 仮説について

生徒数減少について、私たちは宣伝不足が原因ではないかと考えた。

そこで、近隣の中学生に本別高校についてどれくらい知っているのか、興味があるのかを調べるため、本別高校のホームページを見たことがあるかについてアンケート調査を行った。

その結果、見たことがある人が12%、見たことがない人が88%という結果が得られた。ホームページを見たことがある人の中にも見づらいやわかりづらい魅力が伝わらないなどの意見もあり、せっかくホームページがあるのに生かし切れていないと感じた。

そこで本別高校をアピールしていくことで、生徒数減少を食い止められるのではないかと考えた。

5. 解決策について

生徒数減少の原因が宣伝不足だとわかったので、それを改善するために本別高校を宣伝する動画を作成し、SNSにアップロードする本別高校のホームページを作り直すことを解決策として考えた。

動画のターゲットはこれから本別高校に入学してもらえる可能性のある中学生に設定したため、中学生によく使うSNSについてアンケートを取ったところ、YouTubeという回答が得られたのでYouTubeに挙げる動画を作成することにした。



【グラフ2：中学生へのアンケート結果】

6. 成果と課題

〔成果〕

まだ実践に至っていないのでどのような成果があるかは不明だが、今後 YouTube に PR 動画を投稿し、ホームページを改良することで、生徒数減少を防ぐ効果が期待できる。

〔課題〕

発表に関して、自分たちの主観から考え、裏付けが不十分なところがあった。

根拠となるデータをたくさん集めることにより、ロジカルな提案にすることができたのではないかな。

7. まとめ

私たちが初めに考えていたアイデアは、街に活気がないという課題を解決するために音楽イベントを開催するというものでしたが、町の課題などについてロジカルな発表になるよう深掘りしていった結果、町の課題について何度も最初から考え直しになり大変だったが、本発表の時には何とか考えをまとめ、提案をすることができた。

これからの活動については引き続き YouTube に動画を投稿していくこととホームページ改良に向け委員会を立ち上げ、より良いホームページについて考えたい。

参考文献

- (1) 本別中学生・本別高校学校要覧

※後日、動画が制作されたので、以下に動画の QR コードを示す。ご覧ください。

タイトル「本別高校の一日」



本別高校を活気のある高校にする

木南璃子 山川雫月 守田七星 橋本康史

概要

本別高校の生徒数減少を食い止め、活気のある高校にすることで、地域の活性化を図る。

1. はじめに

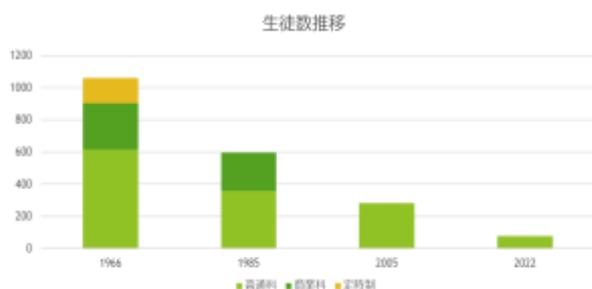
このテーマに取り組んだきっかけは、私たちが高校で過ごす中で生徒が少ないと身をもって感じ、このまま私たちの母校である本別高校がなくなってしまうのは寂しいと思ったからです。高校の魅力を的確に伝え、本別高校に来てもらうことで、高校に活気が出て、本別町の活性化にも繋がるのではないかと考えました。

2. 課題について

本別高校の生徒数を増やし、活気のある高校にするにはどうしたらよいだろうか。

3. 現状分析について

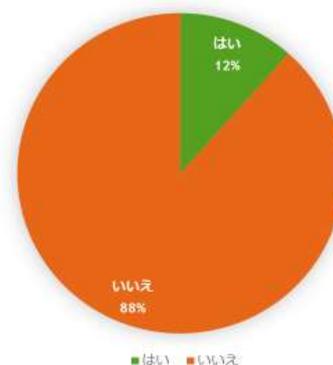
現状分析として、本別高校の生徒数は年々減少していることがわかった(図1)。また、今年度から本別高校の間口は1間口に減っていることから、ここ数年の本別高校の志望する人数が低迷していることがわかる。



【図1：本別高校の生徒数推移】

また、生徒数減少の原因について調査するため本別の中学生にアンケートを取った結果、本別高校のホームページを訪れる人は12%と少ないことがわかった(図2)。この結果から、生徒数減少の主な原因として、高校の魅力を伝える上でホームページ等のメディアを生かしてきれていないことが挙げられた。

ホームページを見たことあるか



【図2：原因調査のためのアンケート】

4. 仮説について

ホームページやSNSを適切に利用し、本別高校の魅力を積極的に発信していくことで、本別高校に興味を持ってもらい、課題の解決に繋がっていくのではないかと考えた。

5. 解決策について

本別高校の魅力を発信していくにあたって、いくつかの解決策を考えた。

- ・ホームページの改良
アンケートを取った際に、「ホームページが見づらい」という意見を踏まえ、見やすいホームページにしていくための委員会を立ち上げるというもの。
- ・YouTube、その他SNSの活用
アンケートを取った際に、よく閲覧するSNSにYouTube、Instagram、Twitterなどが挙げられた。

この結果を踏まえ、これらのコンテンツに絞ってPR動画や高校生活の様子をアップロードしていくというもの。

6. 成果と課題

[成果]

まだ実践に至っていないのでどのような成果があるかは不明だが、ソーシャルメディアを生かし、積極的に情報発信していくことで興味を持ってもらい、生徒数増加に繋がる効果が期待できる。

[課題]

早いうちに実践をすることで、今年度から生徒数の増加が見込めたのではないかと思った。また、他校の中学生にもアンケートを取ることで、他の地域の意見を取り入れることができるので、改善に繋がると思った。

7. まとめ

今回の活動を通して、私達自身も改めて本別高校の魅力に気付くことができた。

本別高校ならではの楽しさを是非知ってほしいと思った。また今後も続けて活動し、本別高校をたくさんの人に知ってもらえたらいいと思った。

参考文献

本別高校学校要覧

本別高校を活気のある高校にする

守田七星 木南璃子 山川雫月 橋本康史

概要

本別高校の充実している部分でPR動画を作成しSNSで発信することで生徒数の増加を目指す。

1. はじめに

この課題を設定した理由は、本別高校の生徒数が年々減少しているという事実から、このままでは本別高校がいずれかなくなってしまう、私たちの母校になる本別高校がなくなってしまうことは寂しいと思った。そんな時に、とちぎ創生学の探究活動という活動を通して本別高校の志願者を増やして高校の存続を目指すために思いついたのがこの課題解決策である。

2. 課題について

本別高校の生徒数が年々減少していることに着目した。

3. 現状分析について

これまでの本別高校の生徒数の推移を調べ、グラフにまとめたところ、定時制や商業科ではなく普通科だけを見ても生徒数が減少しているのがわかる。



【グラフ1：生徒数の推移】

4. 仮説について

私達の班では、本別高校の魅力が十分に伝わっていないと考えた。そこで、本別高校のことについて掲載されているホームページを見たことがあるのか本別中学生95人にアンケートを取ると見たことがある人が12%、見たことのない人が88%という結果になった。また、見たことがあるという人の中でも見づらい・分かりづらいとの意見もあったため、本別高校の魅力の宣伝不足が原因だと考え本別高校と充実している所をSNSで発信していくことで生徒数は増えるのではないかと考えた。

5. 解決策について

仮説構築にもあったように、ホームページを見やすくするために改良する。そのためにホームページを改良するための委員会を立ち上げる、SNSを活用しPR動画を作成する。SNSを活用する上で、本別中学生によく使うSNSを聞いたところ、YouTubeが一番多かったのでYouTubeに掲載する。

6. 成果と課題

【成果】

まだ実践に至っていないのでどのような成果があるかは不明だが、今後SNSにPR動画を掲載したり、ホームページを改良することでより多くの人に本別高校のことを知ってもらい、生徒数が増える効果が期待できる。

【課題】

高校のPR動画を作る上で、どんなことを知りたいかというアンケートを取った時に、本別中学校だけではなく近隣中学校の意見も取り入れるためにアンケートを実施すると、より説得力のある裏付けになったと考えた。

7. まとめ

活動を振り返って、どの課題でも同じだが現状分析をして説得力を高めるために現状分析の裏付けを調べたり、考えたりするのがとても難しかった。

私達の班は、まだホームページを改良する委員会を立ち上げられていないため、これからも活動を続けていきたい。ホームページを少しでも見やすく、誰が見ても人目でわかるようなホームページを作りたいと思う。

参考文献

- (1) 本別中学生・本別高校学校要覧

本別高校を活気のある高校にする

橋本康史 木南璃子 守田七星 山川雫月

概要

本別高校を活気のある高校にする。

1. はじめに

年々町の人口が減少しているということで、町を活性化させるには、まず本別高校の生徒数を増加させる必要があると考えた。

2. 課題について

町の人口が減るとともに本別高校の生徒数も減っていることに着目した。

3. 現状分析について

本別高校の生徒数を調べてみたところ、生徒数が減っていることに気が付いた。過去10年間の生徒数の推移を見てみると2012年には209人いたにもかかわらず、令和4年度77人と半分以上に減少していることがわかった。



【グラフ1：生徒数の推移】



【グラフ2：過去10年間の生徒数の推移】

4. 仮説について

本別高校の充実しているところを発信していくことで間口・生徒は増えるのではないかと考えた。

5. 解決策について

解決案として、ホームページを変える、SNSを活用してPR動画を作成するという案が出た。そこでホームページを変えるために、ホームページを工夫するための委員会を立ち上げるよう考えた。

6. 成果と課題

【成果】

- ・解決策を探す過程で何が可能か、何をすれば生徒数が増えるかと、様々な視点で考えることができた。
- ・自分たちができること、自分たちではできないことをしっかり判断し、自分たちができることを徹底的にすることができた。
- ・発表において、五班の人と協力して実施することができた。

【課題】

- ・ホームページをリニューアルための人手の確保。
- ・活動を通して、先生としっかり話し合い、自分たちができることを見つけていくこと。

7. まとめ

本別町をもっと活性化させるには、何をしたらいいか考えるときに、案がありすぎてどうしたらいいかを悩む時間が長かったと考える。

参考文献

- (1) 本別町町勢要覧：2020年観光について